

「老健施設における職員配置状況及び介護職員不足への現状と課題」 調査報告会

◆日 時：令和元年 12 月 3 日（火） 15：00～17：00

◆会 場：場所：TKP博多駅前シティセンター／8階／ホールA

14：30～	受付開始	
15：00～	報告	井上 崇（研修企画委員会委員長） 介護老人保健施設 伸寿苑
15：50～	講演①「技能実習生を活用した人材戦略について」	青見 健志／介護老人保健施設青風苑 福岡県介護老人保健施設協会理事
16：10～	講演②「留学制度を活用した外国人介護福祉士育成プログラム」	傍示 康久 株式会社アウルメイト 代表取締役
16：30～	総括・質疑応答	

◆報告会開始前に、中村副会長（災害対策委員会委員長）より「災害時緊急連絡網の整備」について会員施設へ説明し、改めて協力のご依頼を行った。

◆次に、村上理事より、県内の状況と比較し自施設の人員配置状況や今後どのような検討をしなければならないか考える機会として頂きたいと開会の挨拶を述べた。



◆井上崇委員長より調査報告を行った。

人材確保に向けた課題として①現状の介護職員離職防止強化（長く働ける環境づくり）、②介護職員の採用への取り組み、③安定した職員雇用のための基盤（経営的安定）づくりがポイントであると提言した。

◆青見健志理事：「技能実習生を活用した人材戦略について」

外国人人材の受入れの問題点や海外（主にフィリピン）での採用活動、また施設内の具体的な受入れ準備について、講演を行った。

◆株式会社アウルメイト 傍示康久様：「留学制度を活用した外国人介護福祉士育成プログラム」
佐賀県で取り組んでいるミャンマーからの留学生受入れの仕組み・特定技能について、また現地面接や佐賀県内の大学との調整・修学資金貸付金を活用した受入れ方法等について講演を行った。



◆井上委員長総括

外国人人材についての議論は終わったと考える施設がほとんどと思われる。実際に受け入れている施設も多く、今後は各施設が具体的に大きく動いていくと思われる。日本人職員に関しても配置次第で加算をとれる場合もある。報告書を参考に自施設で取り組めるものから進めていただきたい。

◆約 60 名にご参加いただきました。ご多用中誠にありがとうございました。



研修企画委員会の様子

令和元年 12 月 4 日作成

事務局 本多